
CDEJのための情報アップデート

体外式除細動器（AED：automated external defibrillator）： あなたは、目の前で倒れた心室細動の患者さんを救えますか？

加藤内科クリニック院長 加藤 光敏

糖尿病患者さんには致死性不整脈が多いことはご存じと思います。致死的な不整脈の最たるものが心室細動です。1986年のこと、バレーボールの試合中に米国の女子選手が倒れたのですが、コートの外で日本人スタッフは何もできませんでした。この映像を見た米国人から「AEDを用いた蘇生をなぜ即刻開始しなかったのか」と大変な批判を浴びました。蘇生率は1分ごとに約10%低下していくからです。シカゴ・オヘア空港でAEDが設置されてから蘇生率が劇的に上がったなどの実績があり、米国ではAED設置が一般化しています。耳新しいところでは、運動中に突然ご逝去された高円宮様がこの致死的な不整脈だったとされており、近くにAEDがあったらと悔やまれます。

体外式除細動器AEDをご存じの方も増えてきていると思いますが、心室細動を起こして倒れた患者さんの心臓に、体外から電流を流し除細動を行うものです。日本では昨年末に、羽田空港の各所に設置されたなど広がりをはじめました。

2004年7月1日に、「一般市民にも条件つきでAEDの使用を認める。」という通達が厚生労働省から出されました。米国には「善意の救命に失敗しても罰せられない」という、通称“良きサマリア人法”があります。日本では法律が整備されるまで、使用者に制限があると慎重に理解しておいた方が良いと思われませんが、一般市民も使用できる方向付けがなされたAEDを療養指導士が率先して使用できるように勉強しておく必要があります。

使用はとても簡単です。とは言っても説明研修を受けていない初心者が使うことは実際上不可能です。患者の汗は拭き取る、ペースメーカーから2.5cm以上離して電極を貼る、ニトロガムTTSは金属を含むためはがすなど、いくつかの注意点があります。現在各地域で講習会を受けるチャンスが増えていますので是非受講しましょう。



当クリニックでのAED使用演習風景

使用手順は、心臓マッサージと人工呼吸を行いながら、AEDの音声指示に従いAEDを開け、図に従い電極パッドを患者胸部に装着。コネクターを差し込むと心電図を解析しショック（通電）の要不要をミニコンピュータが自動的に判断。患者から離れ、ショックを実行するためボタンを押す。「ショックが完了、心電図を解析中です。ショック不要です。」という音声が出て呼吸と脈拍の正常が確認できれば、心室細動の事実上の心停止からの蘇生成功です。

今後、競技場をはじめ人の集まる所には設置されます。近い将来「誰か来て下さい!」という叫びでAEDを使い患者を救命できるのは、糖尿病療養指導士であるあなたです!